

ワクチン地動説的変動！ トップ FDA 科学者たちが医学誌に手紙

ファウチのブースター注射に反対し警告する手紙を Lancet に送る

Jeffrey A. Tucker | Brownstone Institute

September 17, 2021

<https://www.infowars.com/posts/covid-vaccine-earthquake-top-fda-scientists-write-letter-to-lancet-warning-against-faucis-booster-shots/>

⇒ワクチンを監視する FDA の科学者たちが、ファウチとバイデンによる危険なブースター注射運動に反対して、2週間前に辞任したことは、「一世代かそれ以上の間、すべてのワクチンへの不信を植え付けるだろう」

⇒世界で最も権威ある医学ジャーナルへのこの手紙は、これ以上の大きな災難が起こる前に、実験的注射について警告を発するように、彼らに求めている。

編集者注：企業メディアは最近、バイデンが、命令的 COVID ブースター注射の通達を用意している数日間、この爆弾的ストーリーを、ずっと検閲していました。どうかこれを、ご友人やご家族などとシェアしていただき、**手遅れになる前に**、この決定的な情報が明らかになるように、ご配慮をお願いします！

ワクチン研究に責任をもつ、2人の FDA トップ官僚が先週、辞任し、今週には、医学誌 The Lancet に署名して、ワクチン・ブースターに反対する、強力な警告の手紙を書いたということは、どれほど重要な意味をもつことであったか！ これは政府の進めるウイルス軽減プロジェクトが、崩壊する最終段階にあることの、顕著な兆候である。

このブースター（補強追加ワクチン）はすでに、トップのロックダウン推進者、インペリアル・カレッジの Neil Ferguson と、NIH のアンソニー・ファウチによって実践されていた——彼らの「専門的」アドバイスに対する、わき上がる大衆の不信にもかかわらず。この2人の FDA 役人が、深刻な疑問を公然と述べるということと、問題の専門家たちが、我々の信頼と尊敬に値する人々だという物語の間には、大きな断絶を感じさせる。

いったいここで何が問題なのか？ それはブースター以上の、もっと大きいものである。それは、個人や医療職業者が、健康管理の支配権を奪われるということ、そして、強権をもって、そのモデル作りをする者や、政府の役人にこれを引き渡すという、経験のすべてにかかわるものである。

2020年3月の最初の週から、アメリカは、ウィルスを軽減する野心的な実験に乗り出した。・・・我々はいまだに、屋内に入るときは手などを消毒するように言われ、人々はいまだに他人の近くではマスクをしている。人々を脅す者たちがいて、誰でも決まりに従わないと見た人々を、徹底的に辱め、弾劾している。

ワクチン運動は人々を分断するのが特徴であり、バイデン大統領は、注射を受けない者たちに「怒り」をぶつけよと奨励し、一方で、感染によって生ずる免疫の存在を、認めることを拒否している。いくつかの都市では、ワクチンを拒否する人々は、都市生活に現実に参加することを拒否されている。そしてポピュリスト運動というべきものが、拒否者をスケープゴートとして扱い、この者たちこそ、ウィルスが問題であり続ける唯一の理由だと言っている。

すべてのこうしたやり方は、支配の波として展開されている。それは催し物のキャンセルや、学校の閉鎖とともに始まった。それは旅行の禁止として継続しており、ほとんどは今も有効である。消毒やガラス板隔離が次に始まった。マスクが習慣となり、次には命令となった。強制された人間分離の原則が、社会の相互関係を支配している。屋内の定員制限が当たり前のことになった。このアメリカの例に倣って、世界の多くの政府は、このように一応、医薬業の政治不介入 (NPIs) の方針を取りながらも、人々の自由を奪おうとした。

支配の段階ごとに、新しい説が主張され、「我々はいよいよ答えを見つけたぞ、ついに SARS-CoV-2 の蔓延を緩めて食い止める、鍵となるテクニックを発見した」、と言われた。が、何ひとつそれは実現しなかった。なぜなら、ウィルスは、こうしたやり方に関係なく、それ自身のコースに従うように見えたからである。実際、世界のどこにも、こうしたやり方が功を奏し、どの程度実現していたかを証明する、観察可能な違いはなかった。

ついに医薬業が(政府の事業として)介入するようになった。最初は自由意志を認めたが、次第に命令になっていった。それは、どんな規定でも初めは勧告で始まるが、最後には命令になるのと同じだった。

これら 19 か月間のどの時点でも、政府役人の側で、明かに失敗を認めた例を、我々はこの他に見たことがない。実際、事情はほとんど正反対である。お役所は、ワクチンに効果のあることを、データや研究によって、念を入れて主張し、一方、社会メディアは、反対意

見の投稿をすべて否定し、厚かましくも、反対の科学を引用する人々のアカウントを消去することによって、体制側を支持してきたからである。

ワクチンは、すべてのギャンブルの中で最も大きなものである。それは単純に、このプログラムは非常にカネがかかり、非常に個人的であり、途方もなく売れるからである。我々、すべての命令に反対した者たちでさえ、このワクチンが最終的に民衆のパニックを終わらせ、政府には、失敗したすべての他の計略から逃げ出す道を与えてくれないかと、希望を持ったほどである。

それは起こらなかった。

ほとんどの人々は、このワクチンは、これまでの他の多くのものと同様、感染と蔓延を防ぐ効果をもっているのだらうと信じていた。この点では、人々は単に、CDCの責任者が言ったことを信じていた。「現在、CDCによる我々のデータは、ワクチンを受けた人々はウイルスを持っていないことを示しています。病気にならないように——」と、Rochelle WalinskyはRachel Maddowに話した。「そしてこれは単に臨床医の実験ではありません。それは現実世界のデータでもあります。」

「君たちはこのワクチンを受けていれば、COVIDにはかからないのだ」と、バイデン大統領は、2021年の夏、一般の見方を反映して言った。

もちろんこれは、真実でないことがわかった。このワクチンは、ある種の厳しい病状を軽減するには、役立つらしい。しかしそれはウイルスに対する勝利ではなかった。8月のイスラエルにおける大量感染は、十分に接種をしていた人々の間で起こった。同じことがイギリスとスコットランドで起こり、その正確に同じ結果が、9月にアメリカで起こり始めた。実際、我々のすべてが、ワクチン接種をしているのにウイルスにかかり、数日、病気をした友人を、誰かもっている。一方で、自然免疫チームが、イスラエルにおいて、ある大きな研究から**巨大なブースト**を受け、COVID患者は、ワクチンによって与えられるより、はるかに有効な保護を獲得することを証明した。

<https://www.israelnationalnews.com/News/News.aspx/309762>

そこで頼みの綱は、このブースターということになった。確かにこれが答えである！イスラエルはそれを命令した最初の国になった。ここでもまた問題が現れ始めた。また一つ、病気軽減の魔法の弾丸が、失敗したからである。そこで、このような見出しが現れたのは、避けられないことだった：——「イスラエルは、おそらく4回目のCOVIDワクチンを用意しつつある」<https://www.detroitnews.com/story/news/world/2021/09/12/israel-fourth-vaccine-covid-virus/118814310/>　そこで、ちょっと考えてみてほしい。ワクチンは

最大の失敗だったとしてランク付けされるだろう。なぜなら、ほんの数か月の間に、「それらは完全な保護を与える」と言っていたのが、「それらはかなり安心できる。ただ、あなたが、きちんと計画された永遠のブースターを受けるならば」ということになっていったからである。

[Greatchain 訳注]

これは、緊急情勢を知っていただくために、ワクチンについての、この「地動説」的な論文を、とりあえず半分まで訳したものである。(残りも紹介する予定)

ワクチン問題の倫理責任者である2人の科学者が、辞任し、自分たちの間違いを認めたことは、確かに小さい問題ではない。メディアと日本政府は、これを無視されることのないようお願いする。

その中心的モラルは、自然の免疫は、人工の免疫より、はるかに確実で、安全かつ有効だということである。これは神の働きを無視して、人工物に置き換える「科学」は、早晩、間違いを起こし敗北するという、倫理的問題と考えてよいだろう。先日も使った譬えだが、母乳を否定して、「科学的」な人工甘味料の使用を奨励する国家があるとすれば、それは馬鹿か、子どもを殺そうとする悪魔かの、どちらかである。